

2 学期以降の取組について

長尾小学校では、今年度、下記の 15 項目を最重点項目として教育活動に取り組んでいます。夏季休業中、1 学期の取組について教職員による自己評価を行いました。その結果をもとに、2 学期以降の取組について修正を加えたり新たな目標を定めたりしましたので、お知らせします。

*評価点は、4：よく達成している 3：まずまず達成している
2：やや不十分 1：不十分
として、全員の評価を平均したものです。

	重点項目	評価点	2 学期以降に向けて
考えようとする力を育む 自ら判断し、粘り強く	だまってそうじをする	2.66	静かに掃除をする雰囲気はあるが、もう少し徹底したい。高学年が低学年に掃除を教える機会ももつ。
	スリッパをそろえる	2.63	個人の意識差が大きい。特に下校前の時刻にトイレのスリッパが乱れやすいので、引き続き声かけをしていく。
	自分の考えや思いを進んで表現する	2.49	発表が苦手な児童への働きかけや手立てを工夫する。話しやすい学級の雰囲気づくりも大切にする。
活動できる態度を育む だれとでも仲良く協力して	あいさつをする	2.70	学年に応じた指導や声かけを継続する。校内だけでなく地域でもあいさつできる子供の姿を目指したい。
	ルールやマナーを守る	2.88	放課後の過ごし方が気になる。大人が目がなくとも、ルールやマナーを守って生活できるように声かけを継続する。
	友達の気持ちを分かろうとする	2.95	子供たち同士がかかわる活動を仕組みれば、当然トラブルも発生する。それを心と心をつなぐチャンスと捉えて対応していく。

健康な体を育む すこやかな心と	元気に遊ぶ	3.46	運動場や菅生公園を使って子供たちはよく遊んでいる。休み時間の見守り体制は継続して行う。
	正しい食習慣や方法を身につける	2.76	限られた給食の時間では、なかなか身につかないことも多い。食に関心がもてるような工夫を学年に応じて試みる。
	健康や安全に注意し心や体を鍛える	2.78	休み時間のケガが多い。学年集会等を活用して、遊び方のきまりについて、学期ごとに確認する。
伝え合い学び合う授業	「長尾スタンダード」のより定着を図る	2.95	職員間で、細かい部分のずれを感じる。スタンダードの定着に向け、全職員が指導を統一できるようにする。
	授業研究を通して授業改善と授業力向上を目指す	2.80	限られた時間の中で、日々の授業準備や教材作成に追われている。普段から教材や指導方法等について話し合う機会をもつようにする。
いじめ未然防止・早期発見・早期対応策の充実を図る	3.27	生活アンケートの実施等により、早期発見や対応ができています。担任と専科教員の連携等、常に報告・連絡・相談を心がける。	
業務改善によりワークライフバランスの適正化を目指す	2.59	退勤時間がなかなか守られない。学校を出てからも自宅で仕事をしている。一部の職員に負担がかからないよう、退勤時間は守る。	
保護者・地域との連携	学校ホームページの更新頻度の向上	3.12	ほぼ毎日更新ができています。学年の行事等は学年の職員が更新できるように意識していく。
	地域・保護者・学校で協同して子供の育成を図る	2.73	NKD北神戸サポーターの方をはじめ、登校時の見守りはありがたい。さらに見守り活動が充実していけるよう、働きかけていきたい。

2学期も、長尾小学校の教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。